

# ノロウイルス食中毒事故報告 自衛隊！ホテル！病院でも！

平成31年に入って、ノロウイルスにより食中毒が多発している。下記の発生状況をまとめた表を見ていただきたい。

【予防対策】感染力の強さがノロウイルスの怖いところである

なにより手洗、消毒が重要。ノロウイルスは主に口から感染するため、感染予防対策は、汚染の疑われる食品を口にしない、感染した飛沫環境下に身をおかない、嘔吐物等の処理には手袋・マスク・エプロンなどで防御、感染者が接触した箇所の消毒、安易に口元を触らない、が鉄則になる。その中で基本となるのが手洗い、消毒と

# 食品事故 対策レポート 2019年4月号

なる。どちらにも感染防止にとても有効な手段なので正しい手洗方法・正しい消毒の知識を身につけ、実践

できることが大事だ。一般的にはノロウイルスにはアルコールは効かない、塩素じゃないとダメ、と言われているが正確に言うと、アルコール（エタノール）もノロウイルスに効果があるのだが、塩素ほど強力ではないだけ。そのため、県や国の衛生指導では塩素（次亜塩素酸イオン）消毒が指導されている。ほかに効果のある消毒剤としては、強酸性水や二酸化塩素などがある。強酸性水は電解水ともいい、食塩水を電気分解して得られる。塩素系で繰り返し肌を消毒していると荒れてしまうが強酸性水は荒れにくく、毒性も低い。そのため、調理場や介護施設などで導入が進んでいる。「次亜塩素酸水」という名前前で食品添加物としても認可されているため安全に気を使う場所では特に有効であるといえる。

## 【ハサップ義務化が始まります】

平成30年6月食品衛生法改正により、すべての食品関連業者にハサップが義務化になりました。ハサップとは、食中毒を防止するための新しい衛生管理をいいます。法施行後は、ハサップを導入しない食品業者様は、営業停止になる

17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	発生日
2/20	2/18	2/17	2/15	2/14	2/14	2/10	2/8	2/8	2/7	2/6	2/4	2/2	1/31	1/30	1/25	1/21	発生日
6人	76人	18人	19人	31人	73人	10人	31人	9人	4人	13人	52人	42人	19人	17人	10人	91人	発症数
複数	複数	4人	5人	13人	21人	6人	3人	4人	3人	5人	6人	13人	8人	9人	4人	複数	保菌者
不明	不明	2人	3人	不明	4人	2人	8人	2人	不明	2人	不明	不明	2人	4人	1人	複数	※調理員
兵庫県・ビル内飲食店使用の取水槽	長崎県・自衛隊駐屯地内給食施設	滋賀県・仕出し店弁当	群馬県・すし店	福井県・弁当販売店	兵庫県・給食センター	徳島県・すし店の弁当	東京都・焼き肉店	宮城県・レストラン	静岡県・居酒屋	東京都・ホテル内日本料理店	千葉県・仕出しセンター弁当	青森県・結婚披露宴	石川県・飲食店	高知県・割烹	長野県・県職員寮	宮城県・総合病院	発生場所

※ノロウイルス保菌の調理員人数の中には発症していない方も含まれています

可能性があります。

食品衛生法が定めるハサップは、事業者の業務の種類、規模により様々なものがあります。本来のハサップである、7原則12手順を順守するコーデックスハサップやハサップの考え方に基づく一般衛生管理があります。

厚生労働省は、将来的には日本発のハサップといえるJFSやFSSCの規格と整合性を持つことを求

めていくそうです。そこで、今回、ハサップを①いつまでに準備しなくてはならないのか ②どのような準備をしなければならぬのか ③導入の費用はいくらかかるのか ④日本発のハサップであるJFSの規格について説明会を開催いたします。

日程は、下記の通りになっています。ハサップについて詳しい情報を得たい方は、ぜひご参加ください。

毎月、ハサップ説明会を開催しています。

ご参加は、ホームページからお申し込みください。 <https://nihon-iso.cc>

日本ISOコンサルタント(株) お問い合わせ TEL 092-292-0251

日時：5月17日(木) 13:30~15:30

場所：福岡県大野城市曙町二丁目3番1号 まどかびあ 302 会議室 参加費 無料

【確認のお願い】 今後、このようなFAX・NEWSがご不要な場合、大変お手数ですが下記ご記入の上、03-6685-5875 までFAXをお願い致します。

貴社名

FAX番号

